

わが町の八月十五日展

『学校日誌で振り返る八月十五日』

『わが町の八月十五日展』では平和の大切さを再確認するために毎年、戦没者の遺影・遺品を展示します。

また今年には笛吹市内の学校に残されている学校日誌・学校沿革誌から終戦の日の学校の様子を紹介します。

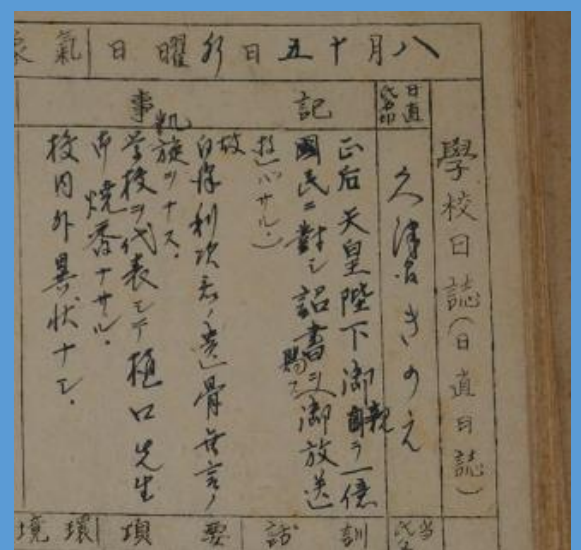
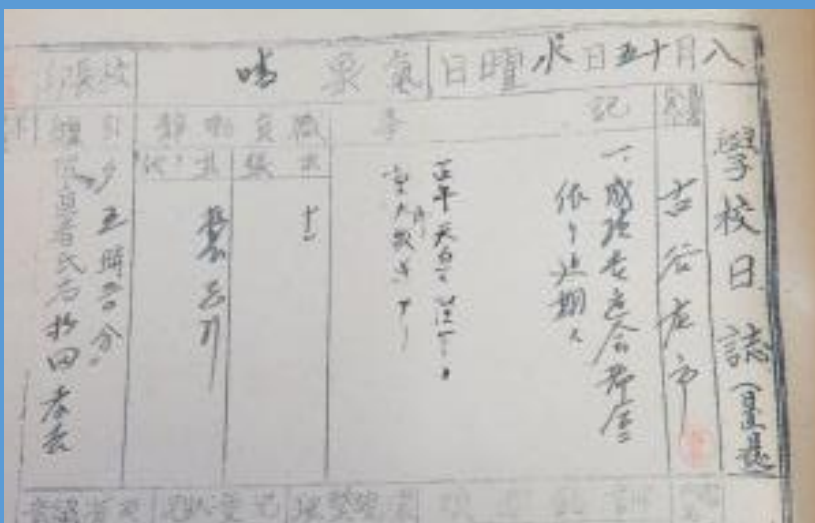


皆さんの通う小学校では、先生が学校での出来事を毎日、記録しています。それが学校日誌です。

太平洋戦争前からあった小学校では戦争が終わった日（1945年8月15日）の日誌が残っていることがあります。

笛吹市内の一宮北小学校・御坂西小学校・境川小学校では終戦の日の日誌が残っています。

3校の日誌には『^{しょうご}正午天皇陛下^{ごほうそう}御放送』(12時に天皇陛下が放送をする)等と書かれています。



昭和20年度学校日誌 ^{きんせい} 錦生国民学校
(錦生国民学校は現在の御坂西小学校)

昭和20年度学校日誌 ^{あいおき} 相興国民学校
(相興国民学校は現在の一宮北小学校)

八月十五回

本日正午畏クモ天皇陛下ヨリ王音御放送アリ

ポツダム宣言ノ受諾 無条件降服 只涙アルノミ

然レモ陛下ノ大御心 我大和民族 人類ノ文明ニ付深ク御軫

念アラセラレ 萬世ノ為ニ太平シ開カント欲スト御望ミサレ

タ事シ思フハ 今後我等ノ受クベキ苦難ノ 尋常ナラストモ断

シテ之ニ堪ヘ進ンテ 理想國家 文化國家ノ 建設ニハ身ノ一

切シ捧ゲ大御心ニ副ヒ奉ルコトヲ期スルモノデアル

職員登校教育者トシテノ 覚悟ニツキ語合ス

八月十六回

また学校の歴史をまとめた学校沿革誌でも1945年8月15日の記録がある小学校があります。八代小沿革誌では「前日より放送を聞くようにした」、春日居小沿革誌には「ポツダム宣言を受けいれ無条件降伏」、芦川小沿革誌には「大東亜戦争終結 無条件降伏」、一宮西小沿革誌には「校庭を畑から運動場に戻す」（戦時中は食べ物が少なくなり運動場を畑にして野菜を作った）と書かれています。

その日に書く学校日誌と後日まとめる学校沿革誌では表現の仕方が変わっているケースがあります。

太平洋戦争前からあった小学校には終戦の日の記録が残る事があります。先生と一緒に戦争中の学校の記録（学校日誌・沿革誌）を調べ、平和について考えてみましょう。

春日居小学校沿革誌

令和4年7月13日（水）～8月29日（月） 入館無料

笛吹市春日居郷土館・小川正子記念館

〒406-0013 山梨県笛吹市春日居町寺本 170-1 Tel0553-26-5100

休館日：毎週火曜日・8月12日（金） 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）